**模擬薬歴アノテーションガイドライン**

2021/10/25

川端・藤牧

１．概要

模擬薬歴のアノテーションでは、薬歴テキストの記述から指定した医学的な言語表現に対してタグを付け、それらの言語表現を他の表現から識別するための作業である。今回の模擬薬歴のアノテーション対象は、疾患・病変・症状、医薬品、検査名、検査値の４種類とする。模擬薬歴にある患者発言（SOAPのS）の文章から、アノテーション対象に該当する箇所にタグ付けを行う。表記方法は以下のタグ形式を用いる。

アノテーション対象とタグ形式

　疾患・病変・症状あり <d>…</d> （※症状がある場合、+は不要）

　疾患・病変・症状なし <d->…</d>（※症状がない場合、 後方の - は不要）

　現在服用中の医薬品 <m-key>…</m-key>

　現在服用していない医薬品<m->…</m>

　検査名<t-key>…</t-key>

　検査値 <t-value>…</t-value>

原則：本人または他人に発生した症状は<d></d>

　　　薬歴で扱う時間軸について、3か月以内の症状は+、それ以前は-

　　　既往歴について、子供のころは～というものは-、昔から今まであるものは+

~~一般論や聞いた話，~~（2022/02/21削除）

　　　発症しなかった症状は<d-></d>

　　　迷った場合はつける

２．事例

2.1疾患・病変・症状

<d></d>つける例

・**期待された効果なし：**薬によって良くなると期待できるものが良くならない（異常）ということなのでつける。

| <d>なかなか良くならない</d>  <d>（薬飲んでいても）良くも悪くも</d>  <d>効いてるんだか効いてないんだかよくわからない</d> |
| --- |

・**軽減したもの**（まだ症状はある）。

| <d>痛みはだいぶ治まっている</d>  　<d>少しだけ良くなってきた気がする</d>  　<d>リウマチの症状が落ち着いている</d> |
| --- |

・**頻度と時間は含める**（「最近」は慢性的と捉える）。

| <d>時々痛み</d>  <d>最近疲れがたまる</d> |
| --- |

・**医師が患者の症状について語った部分**にもつける。

| 先生も、<d>体重が減ってきていい調子</d>だねと言われた。 |
| --- |

**※問題ないとき、変わりない、はつけない。**

| 「夜は飲んだらすぐに寝るので（眠気の症状は）特に問題ないです」  「とくに変わったことなく飲んでいます」  「もう今は大丈夫」  「血圧の薬を飲んでいるので血圧が下がりすぎるかもしれないと聞いていた」　（一般論で本人の症状ではない） |
| --- |

<d-></d>つける例

・**あるべきものがない状態：**「食欲なし」はあるべきものがない状態であるため、「食欲な　し」に＋、「食欲あり」に－をつける。

| ~~<d->食欲</d>もあります。~~（2022/02/22削除）  　<d>今はあまり食欲もなくなって</d>  　<d>あまり栄養を摂れていない</d>  2022/02/22追記  <d->食欲不全</d>なし  <d->食欲がない</d>状態がなくなった  食欲あり　(タグ無し) |
| --- |

・**複数の症状がない場合：**範囲をできるだけ少なくとる。

| <d->だるさ</d>とか<d->筋肉痛</d>はない |
| --- |

2.2医薬品

<m-key></m-key>つける例

・サプリ

・ブドウ糖

・<m-key>痺れに効く薬</m-key>

・<m-key>吸入</m-key>

・<m-key>抗がん剤</m-key>

※「薬」という単語にはつけない。

2.３検査名・検査値

<t-key></t-key>検査、<t-value></t-value>結果　つける例

・<t-key>HbA1c</t-key>も<t-value>少しだけよくなってきた</t-value>

・血圧は普段の数字がわからないと判断できないので、普段の血圧からつける。

　<t-value>140から150くらいあったのが，130くらい</t-value>

・薬品（下剤）の影響があった場合

　<t-key>マグネシウムの値</t-key>が<t-value>高い</t-value>